別紙

研　究　等　成　果　報　告　書

研究費の区分	基盤研究費・学部等研究費・全学プロジェクト等研究費 種目：学部等研究費
研　究　課　題	異文化交流に関する基礎的研究 －南部ドイツにおける多様化する農家経営に関する実証的調査研究－① Baden-Wuettenmburg 州における Besen の歴史的展開と現状について－
学部等・職・氏名	共通教育センター　　　　　　　准教授・劉　文静
研究成果の概要	南部ドイツ Baden-Wuettenmburg 州において、農家経営の形態が多様化しており、農業のグローバリゼーションも急速に進んでいる。経営戦略のオリジナリティが求められるなかで、消費者を意識しながらの生産と販売がますますその重要性を増してきている。Besen は専業ワイン農家のワイン直売、独自の自家製ワインを自家レストランで経営する形態である。こういったワイン農家の直売の形態はほかの地域にもみられるが、Besen という言葉はこの州独自の伝統である。このような販売形態の確立によって、専業農家は自家製のワインをほぼ全量販売することができる。またこの州の7割以上のワインが地域内販売を実現している。グローバリゼーションの進展によって、地域内の販売の割合が減り始める傾向にあるが、品質で勝負する農家にとっては Besen が依然として地域内の消費者をひきつける大きな魅力となっている。このような取り組みは最近の日本でさかんに取り組まれる農家レストランにとって大きな参考的意義をもつものと考えている。 18 年度の学部等研究費によって、Baden－Wuettenmburg 州の農業の一部であるワイン農家の生産と販売について、実証的調査研究を行なった。その上に、19 年度は、Weingut Schloss Neuweier（大規模個別農家）および、Winzergenossenschaft Waldulm、Winzerkeller Hex vom Dasenstein などワイン販売協同組合などの聞き取り調査の一部を行なった。
目標の達成状況	初期的文献検索および訪問調査の目標の一部が達成された。収集した文献を読み取り、手元にある統計資料を集計分析した上で、多様な形態の Besen 農家を類型化し、諸類型ごとの農家の訪問調査が今後の課題となる。
成果発表等	19 年度の調査実施状況については、添付資料を参照願います。

注　学会発表論文等の成果発表資料を添付すること。（成果発表資料がない場合は、研究実施レポートを添付すること）